【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【公表番号】特表2013-536997(P2013-536997A)
【公表日】平成25年9月26日(2013.9.26)
【年通号数】公開・登録公報2013-052
【出願番号】特願2013-526988(P2013-526988)
【国際特許分類】
Ｈ０１Ｌ　31/06　(2012.01)
Ｈ０１Ｌ　31/04　(2014.01)
Ｈ０１Ｌ　31/046　(2014.01)
【ＦＩ】
Ｈ０１Ｌ　31/04　Ｅ
Ｈ０１Ｌ　31/04　Ｍ
Ｈ０１Ｌ　31/04　Ｓ

【手続補正書】
【提出日】平成26年5月30日(2014.5.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
互いに反対になる第１面及び第２面を備える支持基板と、
前記第１面側に位置し、第１電極、光吸収層、及び第２電極を含む光電変換部と、
前記第１電極及び前記第２電極のうち、少なくともいずれか１つに電気的に連結され、前記第２面側に位置する集電電極と、
を含むことを特徴とする、太陽電池。
【請求項２】
前記第１電極及び前記第２電極のうちの少なくともいずれか１つは、前記第１面に位置する電極部及び前記第１面から前記第２面に延びる延長部を含み、
前記集電電極が前記延長部に接触形成されることを特徴とする、請求項１に記載の太陽電池。
【請求項３】
前記延長部は、前記第１面から前記支持基板の側面を覆いかぶせながら前記第２面まで延びることを特徴とする、請求項２に記載の太陽電池。
【請求項４】
前記第１電極、前記光吸収層、及び前記第２電極が前記支持基板の前記第１面の上に順次に積層され、
前記第１電極は、前記第１面に位置する電極部及び前記第１面から前記第２面に延びる延長部を含むことを特徴とする、請求項１から３のいずれか一項に記載の太陽電池。
【請求項５】
前記第１延長部と前記第２延長部とは６０μｍ以上離隔することを特徴とする、請求項４に記載の太陽電池。
【請求項６】
前記延長部は、前記電極部の一側から延びる第１延長部、及び前記電極部の他側から延びて、前記第２面で前記第１延長部と離隔する第２延長部を含み、

前記集電電極は前記第１延長部に接触形成される第１集電電極及び前記第２延長部に接触形成される第２集電電極を含むことを特徴とする、請求項４に記載の太陽電池。
【請求項７】
前記光電変換部は互いに直列に連結される複数の光電変換部を含んで前記第１電極の電極部、前記光吸収層、及び前記第２電極が複数に備えられ、
前記第１延長部は前記第２電極とコンタクトパターンを通じて連結されない前記第１電極の電極部から延びて、前記第２延長部は前記第２電極とコンタクトパターンを通じて連結された前記第１電極の電極部から延びることを特徴とする、請求項６に記載の太陽電池。
【請求項８】
互いに反対になる第１面及び第２面を備える支持基板、前記第１面側に位置し、第１電極、光吸収層、及び第２電極を含む光電変換部、及び前記第１電極及び前記第２電極のうちの少なくともいずれか１つに電気的に連結され、前記第２面側に位置する集電電極を含む太陽電池と、
前記支持基板の前記第２面に位置するジャンクションボックスと、
を含むことを特徴とする、太陽電池モジュール。
【請求項９】
前記第１電極及び前記第２電極のうちの少なくともいずれか１つは、前記第１面に位置する電極部及び前記第１面から前記第２面に延びる延長部を含み、
前記集電電極が前記延長部に接触形成されることを特徴とする、請求項８に記載の太陽電池モジュール。
【請求項１０】
前記延長部は、前記第１面から前記支持基板の側面を覆いかぶせながら前記第２面まで延びることを特徴とする、請求項９に記載の太陽電池モジュール。